

熊本に住む外国人のために
日本語教室ボランティアのためのパンフレット作成

要 約

例年日本語教育研究室は熊本市国際交流振興事業団と連携し、在留外国人がより快適な生活を送るための支援となる日本語テキストの作成を行ってきた。過去には「緊急時編」「仕事編」「病院編」などの分野を作成したが、今年度の研究では熊本市内の日本語教室で聞き取り調査を行い、日本語教室でボランティアをしている方に焦点を当てたパンフレットを作成する。またハンドブックの作成と並行して、各地の日本語教室等を訪問し、日本語教室の立ち上げに関わる人を対象とした指南書の作成にも努める。

キーワード：地域日本語教室，在熊外国人，ボランティア

1. はじめに

例年日本語教育研究室は熊本市国際交流振興事業団と連携し、在熊外国人がより快適な生活を送るための支援となる日本語テキストの作成を行ってきた。

熊本市国際交流会館が主催している熊本市内の日本語教室を調査している中で、「国際交流会館くらしのにほんぐらぶ」でボランティアをしている方々の負担の大きさが気になった。この教室では、ボランティア 1 人に対して外国人が 1 人から 5 人程度が振り分けられ、テキスト選びから授業の進め方までがボランティア 1 人に任されている。ボランティアの方から「どうしたらいいかわからない」などの声もあった。教室に来ている外国人が満足しているのかも気になる点である。

また、例年作成してきた日本語テキストがあまり活用されていない点も課題だと考えた。

2. 方 法

そこで、今年度の研究では、「くらしのにほんぐらぶ」を中心とした地域の日本語教室のボランティアに焦点を当てたパンフレットを作成する。ボランティアの方がやるべきことの範囲を明らかにし、より活動しやすくなるパンフレットを作ることで、「国際交流会館くらしのにほんぐらぶ」に来ている外国人の生活がより快適になる

ことを目指す。パンフレットは、飯村研究室と協力し、新規のホームページにアップする。また、これまでに作成したテキストをパンフレットの中で紹介する。

3. 結 果

ボランティアの方にアンケート調査をした結果、ほとんどの方がテキストを用いていることが分かった。テキストは「みんなの日本語」を使っている方が多く、テキスト選びに困っている方も多いことがわかった。また、困っていることとして、「発音や文法、敬語などをどこまで直すべきかわからない」、「文法の説明の仕方がわからない」の 2 点を挙げた方が多かった。

外国の方に聞き取り調査を行った結果、楽しいと答えた方がほとんどだったが、楽しい活動、したい活動を質問した際、テキストを使った学習に関しての反応は良いとは言えなかった。テキストより会話を中心とした活動を望んでいる方が多いことが分かった。また、「日本語が間違っているときは教えてほしい」と答えた方がほとんどだった。

4. 考 察

「くらしのにほんぐらぶ」は、おしゃべりを通して日本の習慣や日本語を学ぶことを目的とした地域日本語教室である。また、ボランティア

の方は日本語教育の専門家ではない。そのため、発音や文法を教える場ではなく、会話を通して日本語を学ぶ場であることを、ボランティアの方、外国の方、双方に意識付けする必要がある。

5. 結 論

ボランティアの方の意識を変えるために、手軽に手に取ることのできるパンフレットを作成する。パンフレットは、①はじめに②楽しくおしゃべりするには？③どのテキストを使う？④日本語教育用語⑤活動シートの 5 つのカテゴリーで構成する。

「①はじめに」で、「くらしのにはほんごくらぶ」がおしゃべり中心の教室であること、文法を教える必要はないことを示す。「②楽しくおしゃべりするには？」では、外国の方とコミュニケーションする上で大切なこと、盛り上がる話題を提示する。「③どのテキストを使う？」では、熊本に住む外国の方を想定し、その方の特徴や悩みからその方に合ったテキストの提案をする。「④日本語教育用語」では、国語文法用語を用いた文法の説明の危険性を示す。また、日本語教育に興味のある方に、知っておくと役に立つ知識を提示する。「⑤活動シート」は、おしゃべりを通じた活動の中で覚えた言葉や文型、初めて知ったことなどをメモしておくシートで、ボランティアの方、外国の方双方の満足感を促す。

6. 今後の課題と展望

今後の課題は、このハンドブックの浸透率を上げることである。ボランティアをされている日本人は高齢者が多く、インターネット環境を持っていない方もいるかもしれない。本研究で作成したホームページをより多くのボランティアの方々に見てもらう工夫が今後必要である。例えば、インターネット以外に、紙媒体を用意する。そうすることで、パンフレットとして多くのボランティアの方々の手にとってもらうことが可能だ。このような活動で現在地域日本語教室で活動している一人でも多くの日本人ボランティアの方々の助けとなり、学習者と日本人ボランティアをつな

ぐ役割を担えたら幸いです。

7. 謝 辞

今回の研究を進める中で、国際振興事業団の八木さんをはじめとする沢山の方々、地域日本語教室のボランティアの方々や学習者の方々には大変お世話になりました。教室に関わる全ての方々が、楽しみながらお互いに交流している姿を見て、この研究を進める大きな活動源となっていました。今後の教室の盛況を心から祈り多文化共生の取り組みが広がっていくことを願い本研究を締めさせていただきます。

8. 参考文献

- ・池上摩希子（2007）「「地域日本語教育」という課題 一理念から内容と方法へ向けて一」『早稲田大学日本語教育研究センター紀要』20 巻
 - ・西口光一（2008）「市民による日本語習得支援を考える」『日本語教育』138 号
 - ・萬浪 絵理（2016）「地域日本語教室で「学習支援」と「相互理解」は両立するか 日本語教育コーディネーターの実践をとらえた考察」『言語文化教育研究』14 巻 p33-54
 - ・萬浪絵理（2015）「ボランティア研修の実践からみる日本語教育コーディネーターの役割―「聴く」ことでつなぐ2つのことばの教育」『多言語多文化：実践と研究』no. 7、p68-91
- 参考 URL（最終取得日：2020 年 1 月 14 日）
- ・出入国在留管理庁ホームページ
http://www.immi-moj.go.jp/hourei/h30_kaisei.html
 - ・統計アラカルト 熊本の統計情報 令和元年 8 月 2 9 日
https://www.pref.kumamoto.jp/common/UploadFileOutput.ashx?c_id=3&id=8689&sub_id=77&flid=204059
 - ・統計アラカルト 熊本の統計情報 令和元年 8 月 6 日
https://www.pref.kumamoto.jp/common/UploadFileOutput.ashx?c_id=3&id=8689&sub_id=76&flid=201926
 - ・芝園かけはしプロジェクト
shibazonokakehashi.org/projects/
 - ・日本語能力試験公式ウェブサイト
<https://www.jlpt.jp/about/merit.html>
 - ・外務省 入管法改正による新しい在留資格特定技能の創設
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/fna/ssw/jp/index.html>

①はじめに

おしゃべりを楽しもう！

国際交流会館「くらしのにほんごくらぶ」の外国の方、ボランティアの方に、楽しいおしゃべりを通して、より豊かな生活を送ってもらいたいという想いで、ボランティアの方のためのパンフレットを作成しました。みなさんの活動の役に立てたら、嬉しいです。ぜひ、ご活用ください。

文法を教える？

「くらしのにほんごくらぶ」の目的は、おしゃべりを通して日本の習慣や生活に必要な日本語の勉強をすることです。「文法を教える」のではなく、楽しく「おしゃべり」してみましょう！！

「くらしのにほんごくらぶ」とは

熊本市国際交流会館で、毎週火曜日（10:00～12:00）、水曜日（10:00～12:00、14:00～16:00、18:30～20:00）日曜日 10:00～12:00、14:00～16:00、）に開催される交流型日本語教室。

日本語支援ボランティアと外国人住民の皆さんが楽しくおしゃべり交流する活動です。1対1や少数グループで、外国人参加者のニーズに合わせた様々な内容で、日本語でできることをひとつずつ増やしていきます。

教室活動に加え、春のお花見、秋のお月見、年末の交流会などの交流活動も盛んです。

熊本市国際交流振興事業団

②楽しくおしゃべりするには？

聞き上手になろう！

1. 待つ

外国語を話すのには時間がかかります。外国の方が「ゆっくり考えていい、間違えても大丈夫」と安心して話せるように、優しい雰囲気です待つことが大事です。

2. いい質問と悪い質問

×えっと、先週の日曜日は何をしていたのかしら。

→先週の日曜日は何をしましたか。

余計な言葉や尊敬語・謙譲語は使わない！

×そのかわいくて、おいしそうなパンは、どうしたんですか。

→おいしそう。かわいいパンですね。

どこで買いましたか。

文は短く。5 W1H を使い、具体的に。

話してみよう！

みなさんが「話してみても良かった！」という話題をまとめてみました。

○テキストではあまり目にしない面白い言葉
熊本弁・珍しい漢字の読み・擬音語・擬態語
若者言葉・よく使う言葉

→ニュアンスがわかる擬声語・擬態語

→日本語擬態語辞典

○日本の社会や文化
歴史や文化・時事問題・ニュース・礼儀・マナー
→熊日新聞中学生用ページ
→マンガで学ぶ日本語会話術

○本人の生活に密接している話題
生活の中で役に立ちそうな情報・季節の情報
日常生活に関わる話題・本人の生活にあった場面設定

相手が興味のある話題・出身国の文化
→まるごと「かつどう」生活と文化
→日本語おしゃべりのたね

○その他活動

日記・折り紙・歌・昔話

→にほんごボランティア手帖 すぐに使える活動ネタ集

→「レアリア・生教材」アイデア帖

③どのテキストを使う？

ベトナム人技能実習生の場合（女性）

- ・テキストでの勉強はつまんない
- ・楽しく生活したい

→あいうえおで日本語（大阪市教育振興公社）

→生活日本語テキスト（地域ルール編）

日本語どこまで直す？

危険につながる場合

「～してください」「～しないで」などの指示は、理解し行動できるように。

韓国人留学生の場合（男性）

- ・漢字が苦手
- ・日本の文化を知りたい

→漢字・語彙が弱いあなたへ

→まるごと「かつどう」

日本語どこまで直す？

よく使う言葉が間違っているとき

基本的な単語や助詞などを間違っていたら

聞き返してみましよう。

小学生の子どもがいるムスリムの場合（女性）

- ・子どもの学校のことが知りたい
- ・ハラールの買い物が難しい

→生活日本語テキスト学校編（保護者用）

→生活日本語テキスト（ムスリム編）

日本語どこまで直す？

間違った意味で取られる場合

日本で仕事を探しているドイツ人の場合（男性）

- ・仕事の探し方・応募の仕方がわからない
- ・不安

→生活日本語テキスト（仕事編）

→すぐに話せる日本語 日本人を知る

日本語どこまで直す？

相手に失礼になるような言葉遣いなど

五段活用や未然形などの国語文法を使って説明していませんか？日本語教育では、別の用語を使って勉強します。基本的な用語をまとめてみたので、興味のある方はご覧ください。

国語文法用語は使わない！

○品詞

形容詞 → い形容詞（高い、小さい）

形容動詞 → な形容詞（元気な、きれいな）

（中略）

その他の品詞、「名詞」、「動詞」などはほとんど国語文法と同じです。

○動詞のグループ分け

動詞は3つのグループに分けられます。Ⅰグループ・Ⅱグループ・Ⅲグループです。

（中略）

外国の方の活用が間違っているとき、動詞のグループが何だったか考えてもらおうと、スムーズに正しく活用できるかと思います。

五段活用 → Ⅰグループ

上一段・下一段 → Ⅱグループ

カ変・サ変 → Ⅲグループ

○動詞の形

先ほどから、「辞書形」や「ます形」という言葉を使って説明していました。以下が基本的な動詞の形です。「未然形」や「連用形」といった言い方はしません。

辞書形…例「書く」「食べる」「勉強する」

ます形…例「書きます」「食べます」「勉強します」

ない形…例「書かない」「食べない」「勉強しない」

て形 …例「書いて」「食べて」「勉強して」

これらの形に変える時に、先ほどの動詞のグループが大切になってきます。グループごとに活用が変わります。

④日本語教育基本用語